

◆基調講演

「なぜ、女子に理系分野なのか」

三重大学人文学部 小川 眞里子 氏



ご紹介にあずかりました小川と申します。三重大学に勤めておりますので、なかなかこちらの方面まで足を延ばすことができません。札幌と仙台には何度か行ったことがあります。盛岡は今日が初めてで、盛岡駅の何と立派なことと思えました。三重大学は津市にあり近鉄の特急は停まりますが、ここは新幹線の最寄り駅ということで、素晴らしく便利だなと思えました。

なぜ女子に理系分野なのかということですが、今、太田先生や田口先生、特に川村先生が「女子の理系の就職内定率が増えている」とお話しされたことを大変興味深く伺いました。私がお見せするデータにも若干関係するかなと思ひ、話を進めさせていただきます。

稲田先生から女子に理系分野に興味を持ってもらうというお話がありました。私は文系におりますが、学生に興味をもってもらい、寝ないでずっと授業を聴いてもらうのは至難の技です。授業自体面白くなければということもありますが、グッズがあるとクイズがあるとか、工夫をしないと寝ないで聴いてくれるというわけにいきません。今日もクイズをいろいろ用意してきております。

さてオリンピックはいつ始まったのでしょうか？ノーベル賞はいつからでしょう？つい最近ロンドンオリンピックが終わったばかりなので、皆さんオリンピックの話題は身近なことだと思います。また、ノーベル賞の話をするのにまことにタイミングよく、昨日は京都大学の山中伸弥先生が受賞されて、大変嬉しいニュースが日本を駆け巡りました。ではまずオリンピックはいつ始まったのかについてです。今世紀とと思っている人はいないと思いますが、20世紀にはじまったのでしょうか？もちろん古代オリンピックではなく、近代

オリンピックですよ。20世紀に始まったと思われる方、手を挙げてください。19世紀に始まったと思う人。(フロアの様子を見て)素晴らしい。ノーベル賞はいつからでしょう？20世紀に始まったと思う人、手を挙げてください。19世紀に始まったと思う人。(フロアの様子を見て)19世紀も結構ありますね。

オリンピックは1896年、ほとんど20世紀に近いところからです。ノーベル賞は1901年に始まりました。1900年だと19世紀なのですが、1901年に始まりましたので、まさに20世紀に始まったということです。オリンピックは4年に一度で、ノーベル賞は毎年あります。オリンピックとノーベル賞の大きな違いは何かというと、4年に一度か、毎年かの違いもありますが、男女ということで考えますと、オリンピックは男女別々でやります。ノーベル賞は男女別々の表彰ではなく、男女一緒ですね。

ノーベル賞についてもオリンピックについても、どちらかという女子には無理という気分が私たちの固定的な観念として張り付いていると思います。女子にサッカーは無理だと考える人は今はいないと思うのですが、ウェイトリフティングは無理だとか、棒高跳びは無理、ハンマー投げは無理、レスリングは無理、ボクシングは無理とされてきました。オリンピックは1896年に始まっていますが、これらの種目が女子の正式種目になるには大体1世紀くらいかかっているのですね。私の年代よりももう少し先輩ですが、人見絹江さんが女子の800メートル走に日本から出場して銀メダルを取りました。1928年のことで、日本の女性にとってずいぶん明るいニュースになりました。しかし、ゴールするなり女子選手がみんな倒れてしまうので、女子には無理ということとなり、次から30年間ほど800メートル走がなくなるなど、オリンピック種目になったりならなかったりする種目でした。

種目	年
女子にサッカーは無理?	1996年
女子にウェイトリフティングは無理?	2000年
女子に棒高跳びは無理?	2000年
女子にハンマー投げは無理?	2000年
女子にレスリングは無理?	2004年
女子にボクシングは無理?	2012年

女子には無理?

女子に科学は無理?
女子に数学は無理?

オリンピックは男女別々でもノーベル賞は最初から女子にとっても正式種目

(スライド 1)

今や42.195キロのマラソンですら女子種目ののに思うのですが。

スライド1をご覧くださいますと、女子サッカーは1996年ですから、ちょうど100年かかっています。ウェイトリフティングが2000年、棒高跳び、ハンマー投げ、レスリングが2004年からです。吉田沙保里さんがレスリングで3度金メダルを取ったので、その前にもレスリングをやっている女の人がたくさんいると思っ

いたのですが、吉田さんはなんとレスリングが女子の正式種目になってからずっと勝ち続けて、金メダルを取りっぱなしなのだとということで、驚きました。ボクシングに関しては1912年から始まり、今年からようやく女子の正式種目になりましたので、ちょうど1世紀かかっているわけです。それに比べますと、ノーベル賞は1901年に始まっていて、ノーベル賞自体については女子には無理とは言われませんが、女子に科学は無理、数学は無理ということは、ずいぶんこれまで言われてきたのではないかと思います。オリンピックは男女別々でも、ノーベル賞は最初から男女にとって正式種目です。正式種目ということは女

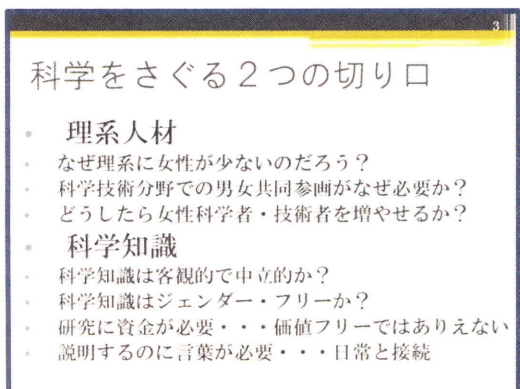
子もノーベル賞をとっていると思いますよね。女性で最初にノーベル賞を取った人は誰ですか？というのがいつものクイズです。「マリー・キュリーも知らない人がいる」と先ほどのお話で聞いていささかショックを受けましたが、1人目はまず答えられるのですね。マリー・キュリーが答えです。では2人目は誰でしょうと言うと、とたんに誰も答えられなくなるのです。実はマリーの娘、イレヌ・ジョリオ=キュリーが女性で2人目ですが、マリー・キュリーがすごいのはなんと2つ目のノーベル賞も取っているのですね。



(スライド 2)

これもクイズですが、この中にも女子学生の人は「私も遊んだわ」ということで、バービー人形やリカちゃん人形を知っている人はたくさんいると思います。これらは子どもに大人気のお人形ですが、共通点があるのです。それは何でしょう？バービーの方は、ITか何かを仕組んでおしゃべりするタイプが売り出されたときに「Math class is tough (数学の授業って難しい

わ)」というセリフをこのお人形の中に入れて込んでしまったのですね。このバービー人形を買うお客様が8億もいる状況ですから、女性団体から苦情が出ました。小学校の低学年や幼稚園の女の子が自分の分身のように思って遊ぶお人形に「数学って難しいわ」なんてわざわざ言わせることもないでしょう。「数学って楽しいわね」なら良いのですが。なぜ「難しいわ」とため息交じりのセリフを言わせるのだろうということなのです。実は日本のリカちゃん人形は、パパはフランス人音楽家、ママは日本人デザイナーという1967年当時の日本女性の夢を投影した雰囲気があるのです。実際に『リカちゃんハウスの博覧会』という本を見ますと、白樺学園の5年生で美術と音楽は得意とあります。そしてこれにも「数学は苦手」と書いてあるのです。そこでタカラトミーのお客様窓口で電話して聞きますと、「確かに昔はそういう設定がありましたが、今はありません」と言われました。ノーベル賞の受賞者について、先程お話しましたが、決して数学が苦手な女性ばかりではありません。数学を得意とする女性はいるので、女子には無理という言い方は改めるべきではないかと思っています。



(スライド 3)

私の今日のお話には2つの切り口があります。「理系人材」という人の問題。先程、非常に数が少ないというお話が出てきましたが、もう少しそれを分析した形でお示したいと思います。もう1つは「科学知識」にもジェンダーが入り込む余地があるということです。クイズをやっていたら、実感していただければと思います。